

©本機をご使用前に必ずお読み下さい。

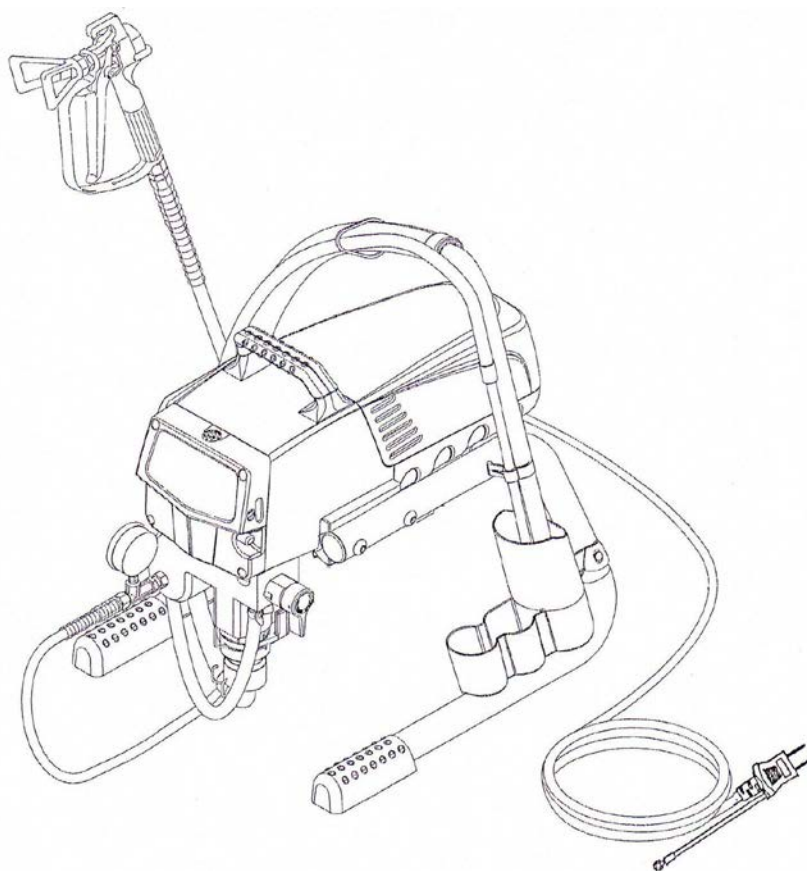
WAGNER

電動ピストンポンプシリーズ

プロスプレー

PS3.23

取扱説明書




日本ワグナー・スプレーテック株式会社


目次

1. 安全使用上の注意	1
2. 製品仕様	3
2-1. 仕様一覧	3
2-2. 各部名称	3
2-3. 標準セット	3
3. 塗料の準備	4
3-1. 塗料のろ過	4
3-2. 粘度調整	4
3-3. 条件付きで使用可能な塗料	4
4. 操作方法	5
4-1. 準備	5
4-2. 圧力表示ランプ	6
4-3. 圧力調整ノブ	6
4-4. 塗装作業	7
4-5. 作業の小休止	8
4-6. 作業の終了と洗浄	8
5. 保守、点検	9
5-1. フィルターの洗浄	9
5-2. 塗料ポンプ	10
吸入弁	10
吐出弁	11
上・下部パッキン	11
リリースバルブ	12
6. トラブルの原因と対策	13
7. 部品図及び部品表	14
7-1. 駆動部	14
7-2. 塗料ポンプ部	16
7-3. フレーム、サクシオン部	18
7-4. 電気回路図	19


1. 安全使用上の注意


塗装機を、安全にお使い頂くために、必ず次の注意事項をよくお読み下さい。
正しい手順で扱わないと場合によっては、重大な事故を引き起こす恐れがあります。
この取扱説明書の注意事項には、次の3種類の項目があります。

 **警告** この表示は、使用者が重傷を負う、又は死亡する可能性のある危険性についての“警告”が、記されています。

 **注意** この表示は、使用者が負傷する、又は機器が破損する可能性のある危険性についての“注意”が記されています。

(注) 取扱説明書内で、特に注意を促す必要のある項目には(注)と、記されています。

 警告	塗装機誤使用による危険
<ul style="list-style-type: none">■本品を、ご使用前に全ての取扱説明書・ラベルを、お読み下さい。■本品は、塗装専用機です。塗装以外の目的に使う場合は、弊社までお問い合わせ下さい。■本品を、改造しないで下さい。■本品は、毎日点検して下さい。磨耗・損傷した部品があれば直ちに修理して下さい。■本品は、仕様一覧に記載されている最大圧力以下の圧力で、使用して下さい。■塗料ホースが、車両の通行する路面や鋭角のある物体、動いている物体、加熱した面などに接触しないようにして下さい。■国や自治体の消防・電気・安全関連の法規・規制に従って作業を進めて下さい。	

 警告	塗装噴霧による危険
<ul style="list-style-type: none">■吹付けられた塗料が、皮膚に付き刺さると大ケガをします。万一ケガをした場合は、直ちに医師による治療を受けて下さい。その時は、使用していた塗料・溶剤名を報告して下さい。■吹き付け作業時、ノズルチップの出口に手や指で触れないで下さい。■液漏れがあった場合、漏れ箇所を手・身体・手袋・ぼろ布などで、止めないで下さい。■吹き付け作業時、エアレスガンのノズルガード・安全カバーは、必ず付けて下さい。■1週間に1度は、エアレスガンのバルブシートに液漏れが無いが、必ず点検して下さい。■エアレスガンを使用する前に、引き金の「安全ロック」が正しく操作出来るか確認して下さい。■作業を中断する時は、引き金の「安全ロック」を、かけておいて下さい。■ノズルチップが、詰まった場合や機械の洗浄・点検・修理を行う時は、必ず液圧を抜いてから始めて下さい。(「液圧の抜き方」P-2参照)■機械の始動前には、塗料ホース等の接続部の締め付けが適切であるか確認して下さい。■塗料ホース、チューブ、ホース金具は毎日点検し、磨耗・損傷のある部品は、すぐ交換して下さい。	



警告

塗料・溶剤による危険

- 引火点が、21℃以下の塗料及び溶剤は使用しないで下さい。
- ご使用になる液体の毒性を確認して下さい。
- 危険性のある液体は、許可を受けた場所に保管し、国や自治体の規定に従い管理して下さい。
- 塗料・溶剤メーカーの指示に従い、吹き付け作業中は常に保護メガネ(塗装用ゴーグル)や手袋・作業着・防塵マスクをして下さい。



警告

火災・爆発の危険

- 塗装機及び被塗物は、必ずアースをして下さい。静電気が発生するとスパークを起こし火災・爆発・電撃の原因となります。
- 本品を使用中、静電気のスパークが起こったり、電気ショックを感じた時は、直ちに作業を中止して、原因を調べ問題が解決するまで使用しないで下さい。
- 塗料や溶剤の揮発蒸気が、滞留しないように塗装現場は、常に換気を良くしておいて下さい。
- 塗装現場に、溶剤の缶やガソリン、燃え易いゴミ、布などを置かないで下さい。
- 塗装現場では、煙草を吸わないで下さい。
- 可燃性蒸気が残っている場所では、電気のスイッチのON/OFFは、しないで下さい。



警告

機械稼働部分の危険

- モーターの始動時及び運転中は、決して機械の稼働部に手や足を近づけないで下さい。
- 機械の点検・修理する時は、液圧を完全に抜いて下さい。(下記「液圧の抜き方」参照)
- 電源スイッチを「OFF」にしても、圧力表示ランプの黄色が「点滅」している間は、モーターが作動します。消えるまで待って下さい。(約20秒間)

液圧の抜き方

※吹付け塗料が、目や皮膚にかかったり電気ショックや稼働部によるケガを防ぐ為に、ポンプ停止時や機械の点検・修理を始める前に、必ず次の手順に従って、液圧を抜いて下さい。

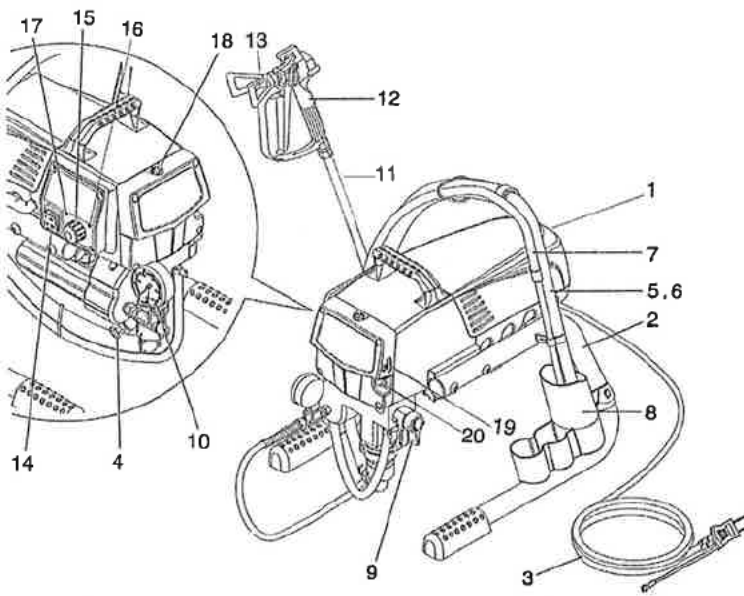
1. エアレスガンの「安全ロック」をかける。
 2. 電源スイッチを「OFF」にする。
 3. プラグ付コードのプラグを、コンセントから抜く。
 4. エアレスガンの「安全ロック」を外し、アース(接地)した空缶とガンを接触させ引き金を引きます。液が出なくなるまで待ちます。
 5. 液が出なくなったら引き金を戻し、エアレスガンの「安全ロック」をかける。
 6. リリーフバルブを「エア抜き」側にする。
- ※ノズルチップた塗料ホースに、詰まりが発生し、上記の方法で液圧が抜けない時は、ノズルチップ又は塗料ホースの口金に布をかぶせ、ゆっくり接続部をゆるめます。高压で、非常に危険ですから充分気をつけて作業して下さい。

2. 製品仕様

2-1. 仕様一覧

電源	100V 50/60Hz
消費電力	750/850W
電流値	9.5/11.0A
最大圧力	20.5MPa
最大吐出量	2.0L/min
使用最大ノズルチップ	0.023" (0.58mm)
寸法 (LxWxH)	436x369x416mm
重量	16.5Kg

2-2. 各部名称



1. 本体
2. フレーム
3. プラグ付コード(アース端子付)
4. 吸入弁固着解消押ボタン
5. 吸入ホースセット
6. 吸入フィルター
7. リターンチューブ
8. フィルターカップ
9. リリーフバルブ
10. 圧力計セット
11. 塗料ホース
12. エアレスガン
13. ノズルチップセット
14. 電源スイッチ
15. 圧力調整ノブ
16. 電源及び圧力表示ランプ
17. モーター作動表示ランプ
18. 潤滑油補給口
19. 潤滑油レベルゲージ
20. 潤滑油注入ボタン

2-3. 標準セット

本体	1	エアレスガン	1
吸入ホースセット	1	ノズルチップ	1
吸入フィルター	1	工具セット	1
リターンチューブ	1	潤滑油	1
塗料ホース	1	取扱説明書	1

3. 塗料の準備

3-1. 塗料のろ過

全ての塗料は、ろ過する必要があります。
特に、開缶後、日を経た塗料は必ず行って下さい。

(注)エアレス塗装に使用するノズルチップの口径は、非常に小さいため、塗料中に含まれる小さな異物でも、詰まりの原因となります。

3-2. 粘度調整

塗料に適合する希釈剤(水・シンナー等)で、作業条件に合わせて、粘度調整を行います。



注意

- 特に粘度の高い塗料の場合、希釈剤が全体にゆきわたり、平均した粘度となるには、かなりの攪拌を必要とします。
- 攪拌機を使って、塗料を攪拌する時は、気泡が生じないように注意して下さい。

3-3. 条件付きで使用可能な塗料

1. 二液性塗料

可使時間を厳守し、この時間内に適切な洗浄液で塗料通路を丁寧に洗浄して下さい。
硬化した塗料は、溶解できません。ポンプ内で硬化すると、塗料ポンプの交換修理となります。

2. 顔料が、多い・特殊な塗料(ジंकリツツチ系等)

顔料には研磨作用があり、吸入・吐出弁、エアレスガン、ノズルチップの磨耗が短時間で発生します。修理にも、かなりの部品交換を必要とします。

4. 操作方法

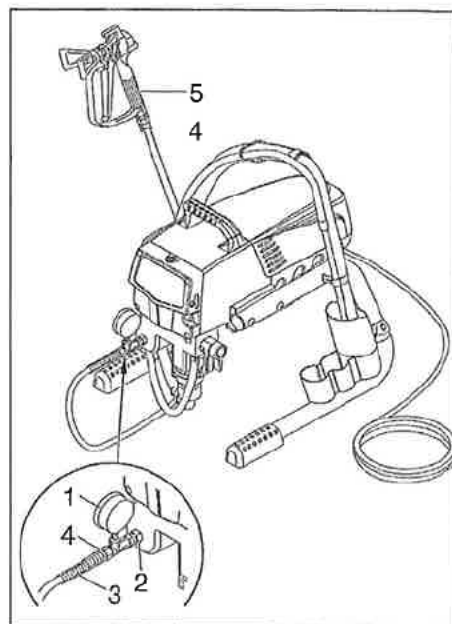
4-1. 準備

1. 本体の吐出口フィッティング(2)に、圧力計セット(1)を取り付けます。
2. 塗料ホースのガードスプリング(3)の付いた方を、圧力計セット(1)に、反対側をエアレスガン(5)に取り付けます。

(注)塗料ホースの金具は、工具で確実に取り付けて下さい。

3. 電源スイッチが「OFF」であることを確認して、プラグ付コードを「AC100V」コンセントに差込んで下さい。

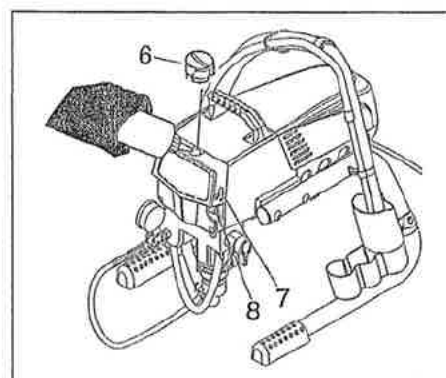
(注)・発電機使用時は、「AC100V」の確認をして下さい。
・タコ足配線は避けて下さい。
・延長コードは、Φ3.5mm以上の太さを使用して下さい。



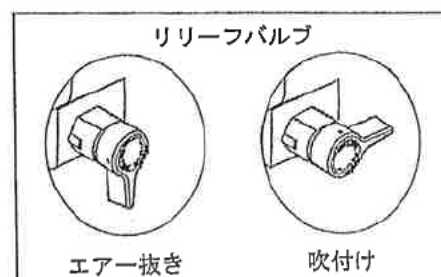
4. 潤滑油注入口のキャップ(6)を、ドライバー又は、硬貨で外し、潤滑油レベルゲージ(7)側面の矢印まで入れて下さい。押ボタン(8)を2~3回押して下さい。

(注)この潤滑油は、パッキンの寿命に大きな影響を与えます。きらさないよう定期的に注入して下さい。

付属の潤滑油が、なくなったらP/N 2205504を購入して下さい。



5. 溶剤(水又はシンナーなど)の入った容器に吸入ホース、リターンホースを入れて下さい。
6. リリーフバルブを「エア抜き」(ノブが縦の位置)にします。



7. 電源スイッチを「ON」にします。黄色のランプが点滅していることを、確認します。

(注)ランプが、点滅(点灯)しないのは、100V電源が機械に通電されていない事です。コンセントを調べて下さい。



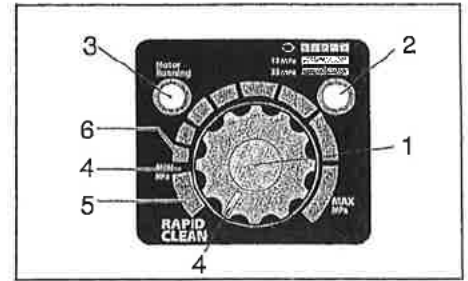
8. 圧力調整ノブ(1)を、(5)又は(6)より上の位置にすると
モーター(ポンプ)が作動します。

※(5)の位置では、モーターが間欠作動しますが
(6)より上の位置では、連続作動します。

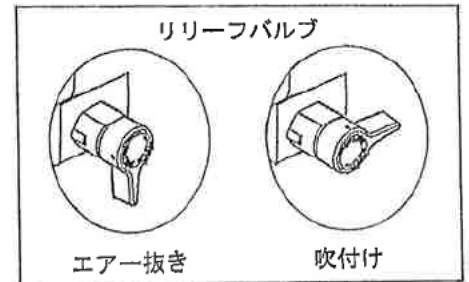
※モーター作動中は、緑色ランプ(3)が、点灯します。

9. リターンチューブから溶剤(水又はシンナー)が出て来るのを
待ちます。

※吸入ホース、塗料ポンプ内の空気が抜けると、リターンチューブから
連続して溶剤が出てきます。



10. 「エア抜き」が終了したら圧力調整ノブ(1)を(4)の位置にして、
リリースバルブを「吹付け」(ノブが横の位置)にします。



11. 圧力調整ノブ(1)を(6)より上にします。圧力計を見て「5.0MPa」位にします。

(注)この時、各接続部からの「液漏れ」が、無いか調べます。もし見られたら「増締め」して下さい。

12. エアレスガンの引き金を引いて溶剤を出します。

(注)この時、塗料通路の異物の排出も行いますので、ノズルチップを取り付けていると
異物の詰まりの恐れがあります。

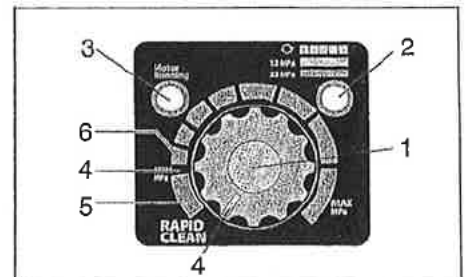
13. 圧力調整ノブ(1)を、(4)の位置にして、リリースバルブを「エア抜き」にします。

4-2. 圧力表示ランプ

・圧力表示ランプ(2)は、吹付け圧力が12.0MPa以下は黄色、
12.0MPa以上は緑色で点灯します。

・「エア抜き」や電源スイッチ「ON」の時は、黄色の点滅です。

・モーター作動表示ランプ(3)は、モーターが回転している時
緑色が点灯します。



4-3. 圧力調整ノブ

圧力調整ノブ(1)の位置で、下記の作動になります。

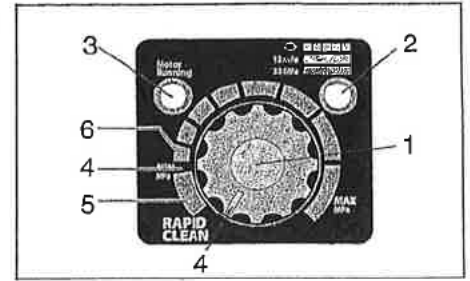
(4).....モーター停止

(5).....洗浄モード(モーターの間欠作動)

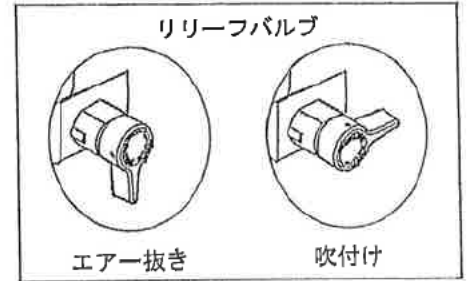
(6).....吹付け圧力の設定。右に回す程高くなります。

4-4. 塗装作業

1. 吸入ホースを十分攪拌(粘度調整)した塗料容器に移し換えます。
(リターンチューブは、溶剤の容器に残しておきます。)
2. 圧力調整ノブ(1)を、(5)又は(6)より上の位置にして「エア抜き」をします。
3. リターンチューブから出て来る溶剤が塗料に変わったら
圧力調整ノブ(1)を(4)の位置にして、リターンチューブを
塗料の容器に移します。



4. リリーフバルブを「吹付け」にして圧力調整ノブ(1)を少しずつ
(6)より上に回し「5.0MPa」まで圧力を上げます。
5. エアレスガンの引き金を引いて、塗料ホース内の溶剤を容器に
戻します。塗料が変わったら圧力調整ノブ(1)を(4)の位置にして
リリーフバルブを「エア抜き」にします。
6. エアレスガンにノズルチップを取り付けます。



(注) 塗料ホース、エアレスガンに、圧力が残っていないか確認して
から、取り付けて下さい。

7. リリーフバルブを「吹付け」にして、圧力調整ノブ(1)を(6)より
上へ少しずつ回して下さい。

8. 試し吹きをして、仕上がり具合を見ながら圧力の調整をします。

(注) 仕上がり具合は、圧力の調整だけでなく、塗料粘度・ノズルチップの
口径にも関係します。

4-5. 作業の小休止

(注)作業の小休止時は、安全確保の為次の作業を以下の手順で行って下さい。

1. 圧力調整ノブを、左一杯戻します。
2. リリーフバルブを「エア抜き」にします。
3. 電源スイッチを「OFF」にします。
(注)電源スイッチを「OFF」にしても、黄色のランプが点滅している時は、モーター(ポンプ)が作動します。消えるまで(約20秒)待って下さい。
4. エアレスガンの引き金を引いて、塗料の圧力を「0」にします。
5. エアレスガンに「安全ロック」をかけ、ノズルチップを洗浄し養生テープを貼っておくか、溶剤(水又はシンナーなど)に浸しておいて下さい。



注意

二液性塗料を使用している場合は、直ちに洗浄して下さい。

4-6. 作業の終了と洗浄

(注)・作業終了後、直ちに洗浄を行って下さい。ポンプを十分に洗浄する事で
次回の作業が、円滑に行え機械の寿命も長くなります。
・吸入ホース、ポンプ、塗料ホース、エアレスガン内に、残留した塗料が乾燥すると
作動不良の原因となります。

1. リリーフバルブを、「エア抜き」にしてポンプを作動させます。
「吸入フィルター」を、塗料面より上に持ち上げます。
2. リターンチューブから塗料が出なくなったら、圧力調整ノブを左一杯戻し、洗浄液の入った容器に吸入ホース、リターンチューブを移し変えます。
3. 圧力調整ノブを「洗浄の位置」又は「低い圧力」に合わせ、1～2分間作動させます。
その後、圧力調整ノブを左一杯戻し(回し)ます。
4. リリーフバルブを「吹付け」にして、圧力調整ノブを少し右に回し「5.0MPa」位に合わせます。
5. エアレスガンの引き金を引いて、塗料ホース・エアレスガンに残った塗料を出します。
6. 塗料から洗浄液に変わったら、エアレスガンからノズルチップを外します、
洗浄液の中に、エアレスガンを入れ、引き金を1～2分間引きます。
7. 汚れた洗浄液を捨て、新しい洗浄液に変え数回繰り返して下さい。
8. 終了したら圧力調整ノブを左一杯戻し、電源スイッチを「OFF」して下さい。
9. ノズルチップは、ブラシ等で洗浄し、詰まり等無い事を確認して下さい。
(注)ノズルチップの出口は、精密加工されています、硬い金属ブラシは使用しないで下さい。



注意

・翌日も作業を行う場合は、洗浄液を塗料通路に残しておきます。
・長期間使用しない場合は、洗浄液を抜き「さび止め油」をポンプに充填し
湿気、ホコリ等の無い場所で保管して下さい。

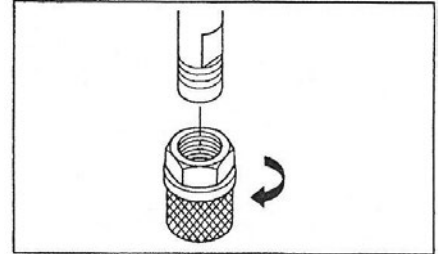
5. 保守点検

5-1. フィルターの洗浄

(注)ノズルチップの口径は、非常に小さい為、塗料中に含まれる小さな異物でも詰まりの原因となります。吸入・高圧フィルターは、定期的に洗浄もしくは交換して下さい。

吸入フィルター

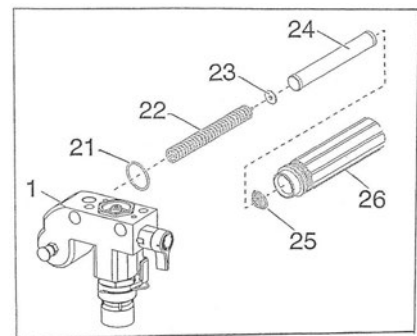
- ・手で左に回して外しますが、ねじの間に入った塗料で回りにくい時は、溶剤(シンナーなど)に浸してから回して下さい。
- ・組み付ける時は、ねじ部を充分洗浄して下さい。



高圧フィルター

1. ハウジング(26)を、左に回して外します。
2. フィルター(24)、コアスプリング(22)、スプリングガイド(23)を取り出し、洗浄もしくは新品と交換して下さい。
3. Oリング(21)は、ペイントハウジング(1)の中に取り付けてあります。漏れがあれば新品と交換して下さい。

(注)フィルタースプリング(25)を、洗浄の為に取外した時は、忘れずに元の位置に取り付けて下さい。フィルターの役目を果たさ無くなります。



5-2. 塗料ポンプ

塗料を吸入しない。圧力が上昇しない。などの原因として、吸入・吐出弁の固着、磨耗、異物の詰まり、パッキンの磨耗等が考えられます。

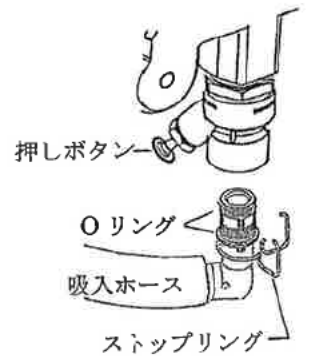


注意

- ・必ず電源スイッチを「OFF」にして、コンセントからプラグを抜いて下さい。
- ・黄色のランプが消えるまで、待って下さい。(約20秒間)
点灯中は、モーター(ポンプ)が作動します。

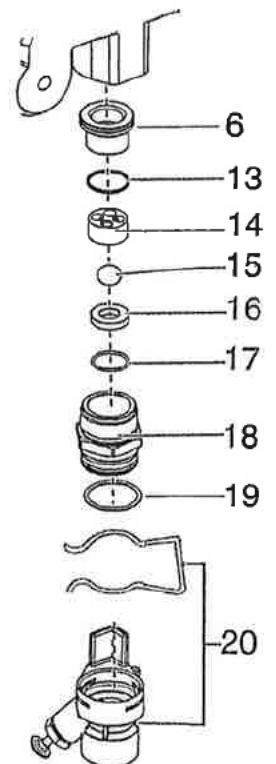
吸入弁 ※消耗品です。定期交換が必要です。

- ・固着している場合は、固着解除押ボタンを押して下さい。
- ・押ボタンで解除出来ない場合は、吸入ホース、押ボタンAssyを外し吸入弁ハウジングの下から弁ボールを押して下さい。



- ・分解、点検する場合は、吸入ホース、押しボタンAssy(20)を取り外し、吸入ハウジング(18)を工具で左に回して外します。(13)～(17)の部品を取り出し、各部品を点検し、磨耗・損傷があれば、新品と交換して下さい。

(注) (13)～(17)の部品が、塗料の乾燥等で取り出せない場合は、溶剤に、浸して下さい。(長いほど良)
無理に外そうとすると、破損の恐れがあります。



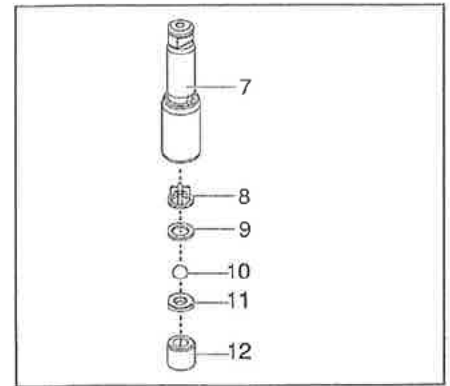
吐出弁 ※消耗品です。定期交換が必要です。

・固着している場合は、吸入ホースセット、押ボタンAssy、吸入ハウジングを外し、鉛筆位の棒で弁ポール(10)を押して下さい。

・分解・点検する場合は、ピストン(7)から、ロックねじ(12)を5/16" (7.9mm)の六角レンチで外し(8)~(11)の部品を取り出します。各部品を点検し磨耗や損傷がある場合は、新品と交換して下さい。

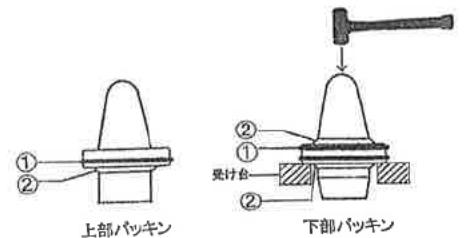
※ピストン(7)の外し方は、「上・下パッキン」(分解)を参照して下さい。

(注)組み立ての際は、ロックねじ(12)にロックタイト(#243)を少量塗って下さい。



上・下パッキン ※消耗品です。定期交換が必要です。

(注)交換用パッキンは、保護の為右図の形状になっています。リング①、リップ②を傷つけない様に、受け台に乗せ丸いキャップを、ハンマーで叩いて分離します。

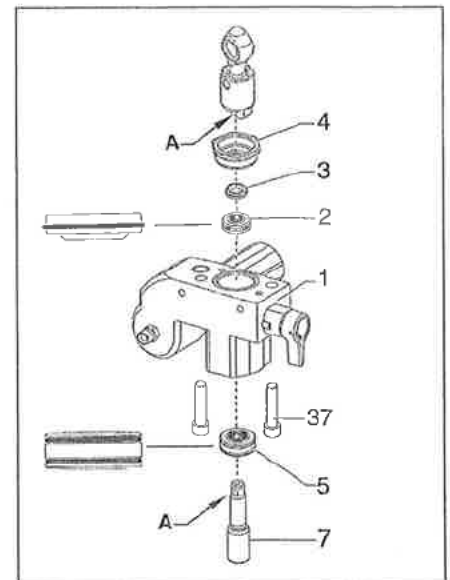


(分解)

1. 六角ボルト(37)2本を、3/8" (9.5mm)六角レンチで外します。
2. ペイントハウジング(1)をノックピンの高さだけ下げます。(ノックピンは、ドライブハウジングに付いている凸2本です。)
3. ペイントハウジング(1)を手前に引くと分離できますが、圧力センサーのケーブルを外すのを、忘れない様にして下さい。
4. ガイドナット(4)をゆるめ、ピストン(7)を下方に押し出します。
5. ガイドナット(4)、ピストンガイド(3)を外します。パッキン(2)、(5)は、(-)ドライバー等で突き出して下さい。

(組み立て)

- ・ペイントハウジング(1)の洗浄を十分に行ってください。
- ・パッキンの方向を間違わない様にして、リングには、グリースを少し塗って下さい。
- ・リング、リップを傷つけない様、気をつけて下さい。
- ・ピストン(7)を入れてから、ガイドナット(4)を締め付けます。

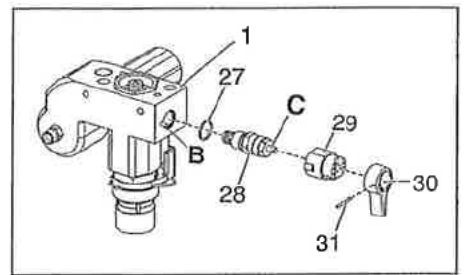


※ドライブハウジングへの取り付けは、交換の逆です。圧力センサーのケーブルの接続を忘れないようにして下さい。

リリーフバルブ

(分解)

1. ピン(31)をストレートポンチ(Φ2)で、抜きます。
2. レバー(30)、カム(29)を外します。
3. リリーフバルブ本体(28)を、工具(21mmスパナ)で外します。」



(組付け)

1. シールパッキン(27)を、リリーフバルブ本体(28)に取付け
ペイントハウジング(1)に工具で取付けます。
2. カム(29)をペイントハウジング(1)のピン(B)に合わせて取付け
ピン穴(C)をカム(29)の凹溝に平行に合わせます。
3. レバー(30)の凸と、カム(29)の凹を合わせて取付け
ピン(31)を打ち込みます。

※レバーとカムの凹凸部には、グリースを少し塗ります。
90°の切り替えが、スムーズであることを確認して下さい。

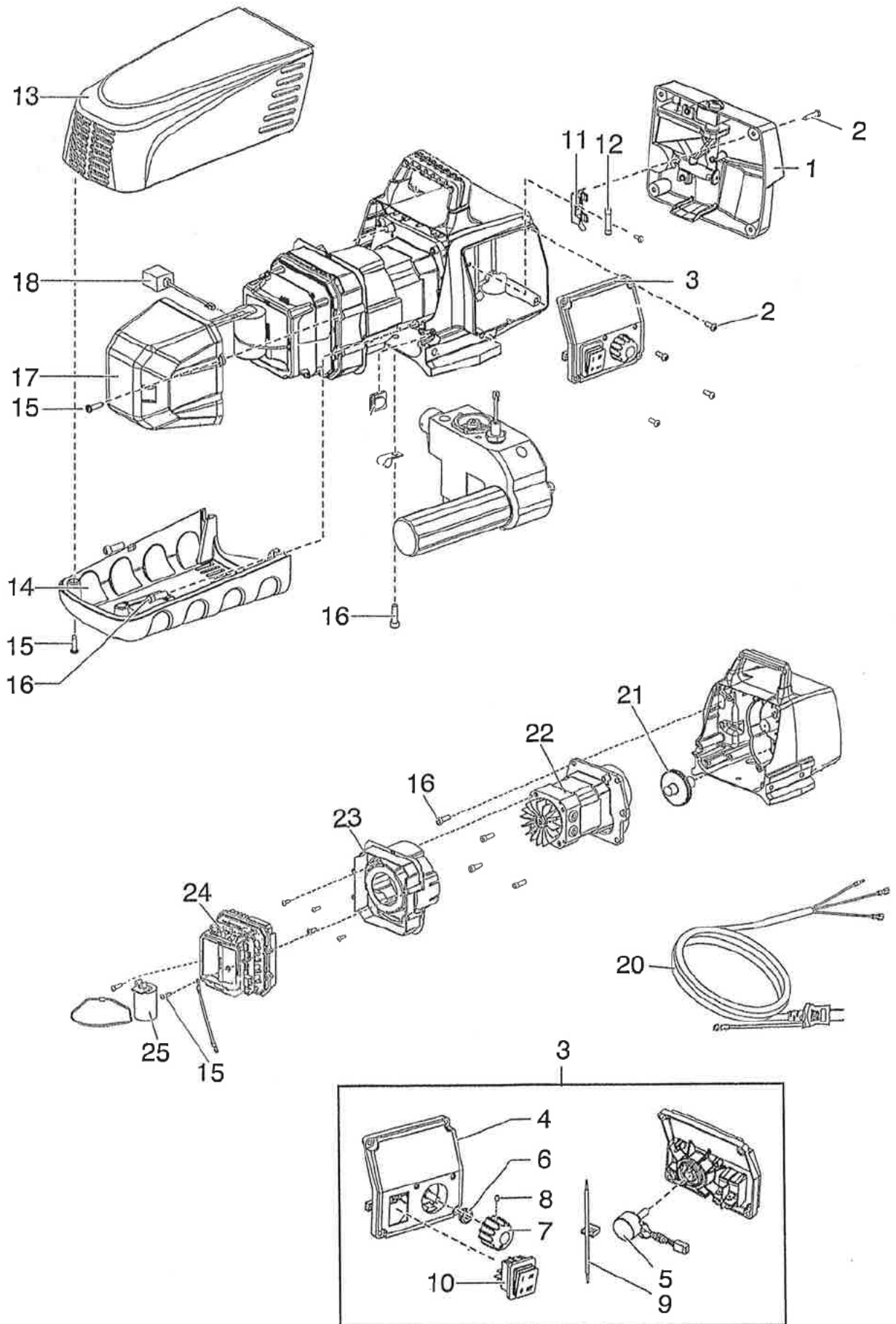
6. トラブルの原因と対策

症状	原因	対策
・モーターが、作動しない。	<ul style="list-style-type: none"> ・電源スイッチを「ON」にしても黄色の表示ランプが、点滅しない。 (コンセントに100Vが無い) ・圧力調整ノブが、停止の位置。 ・圧力センサーの不良。 	<ul style="list-style-type: none"> ・コンセントの調査。(P-5) ・コンセントを変える。 ・ノブを、右に回す。(P-6) ・分解、点検、修理。
・モーターは、作動するが塗料を、吸入しない。	<ul style="list-style-type: none"> ・吸入フィルターが詰まっている。 ・吸入ホースの取付け不良。 (Oリングの損傷、未装着) ・吸入・吐出弁の固着、又は磨耗・損傷。 ・リリースバルブが、「吹付け」になっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・洗浄 (P-9) ・点検、修理 (P-10) ・分解、点検、修理 (P-10,11) ・切りかえる。(P-5)
・塗料は吸入するが、圧力が上昇しない。又は、不安定。	<ul style="list-style-type: none"> ・吸入・吐出弁の磨耗・損傷。 ・パッキンの磨耗・損傷。 ・フィルターの目詰まり。 ・リリースバルブの漏れ。 ・塗料粘度が、高すぎる。 ・ノズルチップの磨耗、又は大き過ぎる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・分解、点検、修理。(P-10,11) ・分解、点検、修理。(P-11) ・洗浄又は、交換。(P-9) ・交換。(P-12) ・希釈。(P-4) ・交換

※エアレスガンについては、同封の取扱説明書を参照して下さい。

7. 部品図及び部品表

7-1. 駆動部

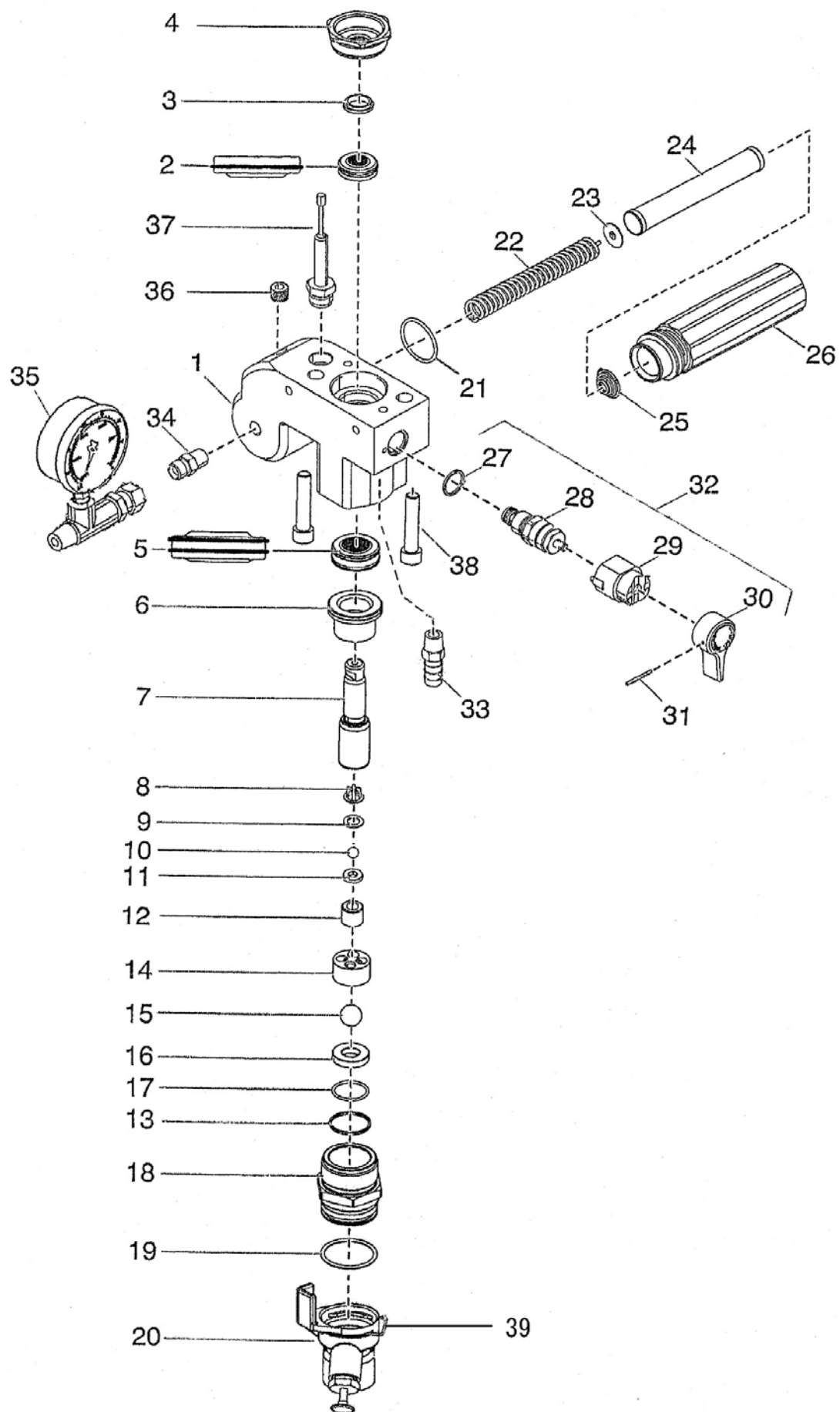


IC20027A

Pos	品番	品名	数量	備考
1	0290278	フロントカバー	1	オイル付
2	0509218	十字穴付鍋小ねじ	8	No.8-32UNCX12
3	0558305A	コントロールAssem	1	
4	0290227	コントロールパネル	(1)	
5	0508579	ポテンションメーター	(1)	
6	0507749	ナット	(1)	
7	0290218	コントロールノブ	(1)	
8	0290202	止めねじ	(1)	
9	0522007	LED assembly	(1)	
10	9850936	スイッチ	(1)	
11	0522210	ヒューズ端子	1	
12	0551627	ヒューズ	1	15A
13	0290230	モーターカバー	1	
14	0290229	モーター底カバー	1	
15	9802266	タッピンねじ	6	4.5X19
16	0508559	六角穴付ボルト	7	
17	0290225	コントローラーカバー	1	
18	0551757	延長ケーブル	1	
20	0552329	プラグ付コード	1	Φ2X3芯X3m
21	0509121	#2ギヤ	1	
22	0290282	モーター	1	
23	0290226	バッフル	1	
24	0558686	コントロールユニット	1	
25	0522023	コンデンサー	1	

LC20027A

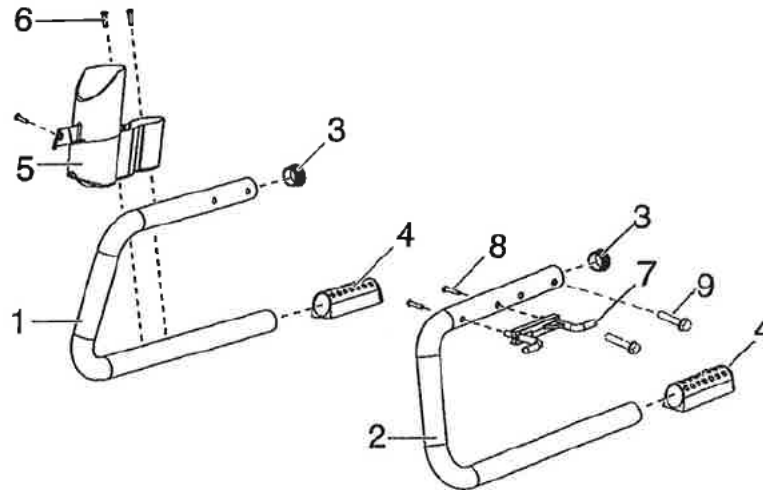
7-2. 塗料ポンプ部



Pos	品番	品名	数量	備考
1	0290209	ペイントハウジング	1	
2	-	上部パッキン	1	○△
3	700-587	ピストンガイド	1	○△
4	0509594	ガイドナット	1	
5	-	下部パッキン	1	○△
6	0552489	ブッシング	1	
7	0290277	ピストン	1	
8	0551262	吐出弁ガイド	1	○
9	704-612	シールパッキン	1	○
10	50164	弁ボール	1	○ Φ8
11	0551620	吐出弁ガイド	1	
12	13481	ロックねじ	1	
13	0509581	シールパッキン	1	○
14	704-703	吸入弁ガイド	1	
15	0509583	弁ボール	1	○ Φ16
16	0551534	吸入弁シート	1	
17	762-058	Oリング	1	○
18	0290216	吸入弁ハウジング	1	
19	800-332	Oリング	1	
20	0290205	プッシャー	1	
21	704-297	Oリング	1	
22	757-105	コアスプリング	1	
23	702-251	スプリングガイド	1	
24	730-067	フィルター	1	60メッシュ
25	0508602	フィルタースプリング	1	
26	0508601	フィルターハウジング	1	
27	0507745	シールパッキン	1	●
28	0558727	リリーフバルブ本体	1	●
29	700-252B	カム	1	●
30	0508744	リリーフバルブレバー	1	●
31	5006543	ピン	1	●
32	0507254	リリーフバルブセット	●	
33	0293355	竹の子ニップル	1	
34	0509873	吐出口フィッティング	1	NPS1/4"
35	0508239	圧力計セット	1	
36	0507517	六角穴付プラグ	1	
37	0551756	圧力センサー	1	
38	0508553	六角穴付ボルト	2	7/16-14UNCX50
39	0558742	クリップ		
	0290201	ポンプサービスセット	○	
	0558728	パッキンセット	△	

LC20028C

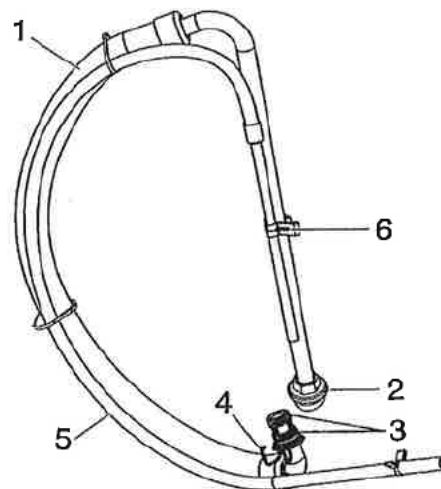
7-3. フレーム・サクシオン部



IC20029A

Pos	品番	品名	数量	
1	0290211	フレーム・右	1	
2	0290210	フレーム・左	1	
3	0294635	エンドキャップ	2	
4	0290214	スタンドゴム	2	
5	0290215	フィルターカップ	1	
6	9805367	トルクスねじ	3	No.10-24UNCx9
7	0290219	コードクランプ	1	
8	0508660	十字穴付小ねじ	2	4.8X25
9	9805348	六角穴付ボルト	4	5/16-18UNCX44

LC20029A

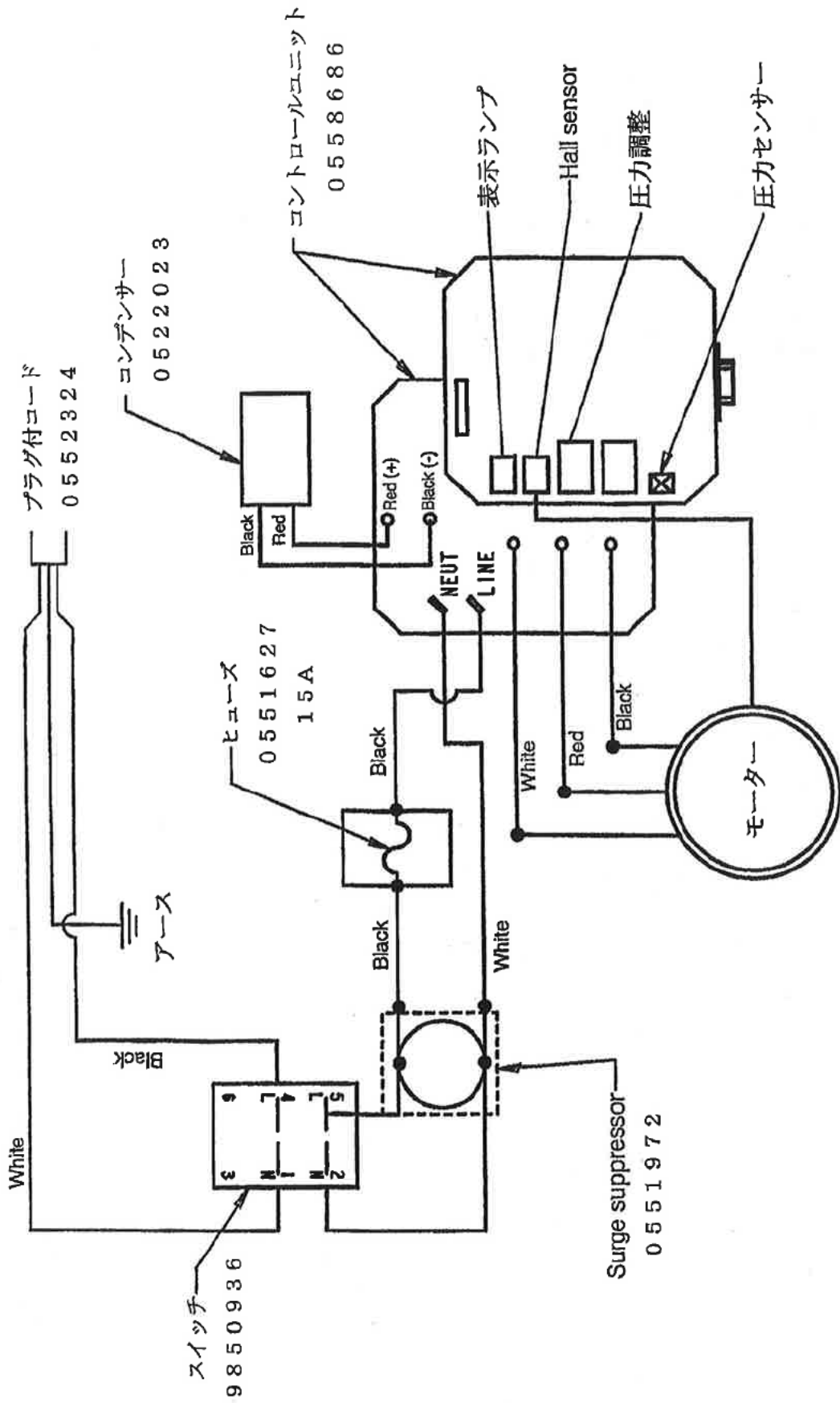


ID20004A

Pos	品番	品名	数量	備考
1	0551706	吸入ホースセット	1	
2	0508738	吸入フィルター	1	
3	9871105	Oリング	2	
4	9822526	ストップリング	1	
5	0558659A	リターンチューブ	1	
6	0279459	クリップ	1	

LD20004A

7-4. 電気回路図





WAGNER 日本ワグナー・スプレーテック株式会社